

### 3 評価方法

#### ● 結果と考察

どのような評価方法を取り入れているか。

(質問13) \*複数回答

#### 学習活動中の見取りや児童生徒の自己評価を重視

小・中学校とも同様の傾向が見られ、次のような評価方法が多く取り入れられている(図12、13)。

発表の様子

(小学校100%、中学校97%)

行動観察

(小学校99%、中学校100%)

ワークシート

(小学校97%、中学校91%)

自己評価

(小学校87%、中学校85%)

作品

(小学校84%、中学校62%)

ポートフォリオ

(小学校74%、中学校56%)

児童生徒の相互評価

(小学校59%、中学校50%)

多くの学校では、教師による観察や児童生徒の自己評価、相互評価によって、課題追究や活動の過程に着目したり、考え方や態度の変容、成長のあとを見取ろうとしたりしている様子が見られる。

一方、保護者からの評価や外部協力者からの評価、学習相談(面談)を行っている学校は、小・中学校とも1割程度と少ない(図12、13)。

この理由としては、外部の方々と打ち合わせをするための時間の確保が容易ではないことや評価の仕方について共通理解が図られていないこと等が考えられる。

#### ● 課題

個に応じた指導と評価の一体化を一層図るために、**学習相談(面談)**を取り入れる。

児童生徒の変容を多方面から見取るために、**保護者や外部協力者からの評価**を取り入れる。

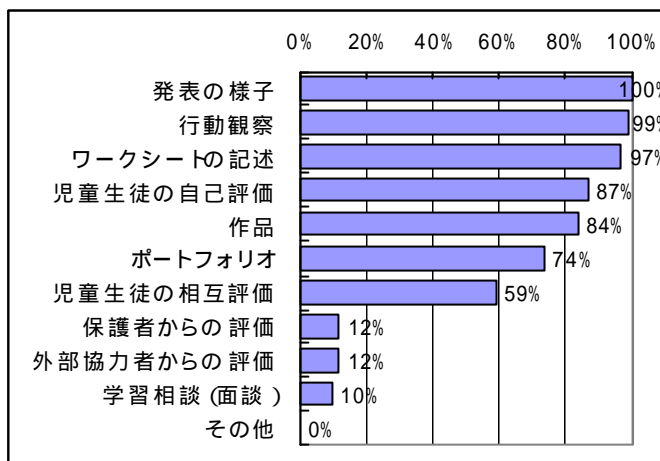


図12 主な評価方法(小学校) 複数回答

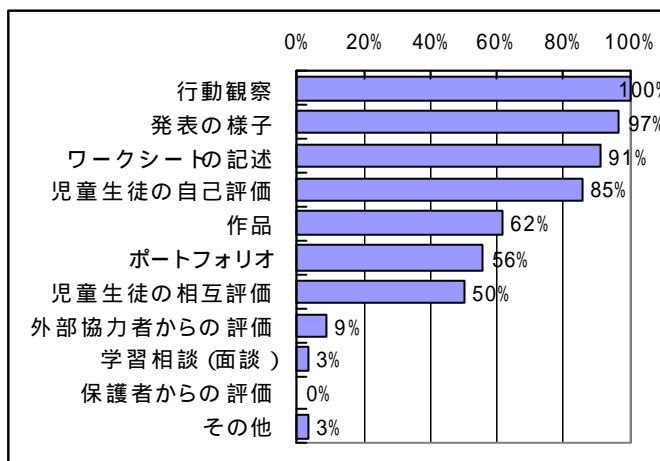


図13 主な評価方法(中学校) 複数回答